

研究プロジェクト「アジア・デザイン・エンサイクロペディアの構築」
Research project: Asian design encyclopedia project

実施期間： 2010～2012 年度（3 年間）

Term of the project: 2010-2012 fiscal years (3 years)

研究代表者： 藤田 治彦 大阪大学大学院文学研究科教授

Project leader: Dr. Haruhiko FUJITA,

Professor, the Graduate School of Letters, Osaka University,

研究目的要旨：

21 世紀の世界の生産拠点であり、最大の消費地でもあるアジア地域は、工芸や生活文化など、長く豊かで、自然と調和的なデザインの伝統を有するにもかかわらず、その真価を域外から十分認められず、域内での認識や相互理解も不足している。内外の理解が深まり、広がることによって、アジアのデザインには世界的貢献が可能だが、短期的視点でのみ注目され、長期的観点からの文化的理解はまだ浅い。このような状況の克服を目指し、アジアのデザインを総合的に捉えた『Asian Design Encyclopedia』（仮称・英文）を企画し、その実現を助ける国際研究会を連続開催する。アジアの専門家が、各国のデザインの歴史と現状について分析と報告を行い、意見交換を通じて、エンサイクロペディアのありかたを検討する。研究報告書「アジアのデザイナー—伝統と革新—」（仮称）の執筆と編集の過程を通じて、共通の理解を形成するとともに、次世代の育成にもつなげる。

研究目的：

①背景：

アジアは世界の生産の拠点であり、最大規模の消費地でもある。アジアの生産と消費の動向は人類社会全体に大きな影響を及ぼす。しかし、デザインのリーダーシップを握っているのは非アジア、西洋文化圏であり、アジアの人々は、工業製品等のハード面でも、ネットワークなどのソフト面でも、そのデザインにおいては欧米に依存している。アジアは大量に生産し、消費しているが、その多くはアジアの外でデザインされたものである。

②必要性：

アジアには工芸などの専門技術や自然と調和した日常生活など、すぐれたデザインの伝統があるにもかかわらず、上記のような背景において、その良さを十分発揮できていない。アジアのデザインの歴史と現状についてアジアの人々が相互に理解し、非アジア人が認識を新たにすることは、人類社会全体にとって重要である。アジアのデザインについて、断片的ではなく、総合的な理解が必要である。そのために『Asian Design Encyclopedia』（仮称）をつくる必要性は高い。結果としてのエンサイクロペディアはもちろんのこと、その企画を進め、分担執筆し、編集する過程も、その理解の向上に貢献するだろう。この研究を通じて、デザインを、実務としてだけでなく、文化として考える、アジアの若い研究者の発掘や育成に努める。いま、建築を含めて、デザインの分野では研究の国際化が急速に進んでおり、アジアの若い世代が欧米の教育研究機関で活躍を始めている。そのような若手研究者も本プロジェクトとそれがサポートする『Asian Design Encyclopedia』の中心的メンバーに加えることによって、文化としてのデザイン研究の国境を越え、既存の領域を超える学問研究の「芽」とし、その研究を国際的に発信する日本国内やアジア圏内の「芽」の育成にも役立てる。また、日本とアジアは、世界的生産の拠点で

はあっても、情報発信の拠点ではありえていない。本プロジェクトでは、電子出版を含む、多くのデザイン関連出版企画を手掛けてきた海外のエディターを参加研究者に加えることによって、学術研究と情報発信とをつなぐ「芽」の育成を世界的視野において試みる。

③方針：

研究期間において、アジア各国・各地域のデザインの特性の研究と、世界の関連エンサイクロペディアの研究を平行して進め、『Asian Design Encyclopedia』の骨格を明らかにする。そのために、以下のような方針で研究を進める。

(1) 『Asian Design Encyclopedia』を英語で企画し、その実現を助ける研究会を英語で実施する。

(2) 上記の研究の経過と成果を『Asian Design Encyclopedia』に反映させる。

(3) 電子版『Asian Design Encyclopedia』の企画も同時に進める。

研究の総括として、研究報告書「Traditions and Innovations in Asian Design- Continuity and Discontinuity- (アジアのデザインー伝統と革新ー)」(仮称)を刊行する。同報告書は、それ自体の価値を持つと同時に、『Asian Design Encyclopedia』(仮称)実現への足固めとなる。

Objectives:

Asia is one of the most important centers of production and consumption in the world. Asia has its long and rich traditions of art, craft, and design, as well as unique cultures which are more harmonious with nature. Asian design is, however, properly understood neither by non-Asian nor by Asian people themselves. To improve this Asian/global situation, we are going to hold a series of international workshops in which specialists in design and its related fields analyze and discuss the history and present conditions of each Asian country, aiming at the publication of an Asian Design Encyclopedia in the near future. As a related product of this study group, a report provisionally entitled 'Traditions and Innovations in Asian Design – Continuity and Discontinuity' will be published in 2013. Through the process of workshops, writing and editorial works of the report, mutual understanding and the next generation of design study in Asia will be formed.

キーワード：アジア、デザイン、エンサイクロペディア、連続性、非連続性

Key Word: Asia, Design, Encyclopedia, Continuity, Discontinuity

参加研究者リスト：21名 (◎研究代表者)

氏名	職名等
◎藤田 治彦	大阪大学大学院文学研究科教授
片山 剛	大阪大学大学院文学研究科教授
萱 のり子	大阪教育大学教育学部教授 (2011年度から参加)
木田 拓也	東京国立近代美術館工芸館工芸課主任研究員 (2012年度から参加)
北村 仁美	東京国立近代美術館工芸館工芸課主任研究員
金 相美	大阪学院大学非常勤講師
黒石 いずみ	青山学院大学総合文化政策学部教授 (2011年度から参加)
菅 靖子	津田塾大学学芸学部英文学科准教授
鈴木 禎宏	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科准教授
高安 啓介	愛媛大学法文学部准教授 (2011年度から参加)
竹内 有子	大阪大学大学院文学研究科招へい研究員
常見 美紀子	京都女子大学家政学部教授 (2012年度から参加)
出川 哲朗	大阪市立東洋陶磁美術館館長

橋本 啓子	神戸学院大学講師 (2012 年度から参加)
橋本 優子	宇都宮美術館主任学芸員 (2012 年度から参加)
畑 智子	京都文化博物館学芸課課長
樋口 孝之	千葉大学大学院工学研究科准教授 (2011 年度から参加)
樋田 豊次郎	秋田公立美術工芸短期大学学長 (2011 年度から参加)
村上 敬	静岡県立美術館学芸課上席学芸員 (2011 年度から参加)
小林 茂	大阪大学大学院文学研究科教授 (2010 年度、2011 年度)
喜屋武 盛也	沖縄県立芸術大学美術工芸学部准教授 (2011 年度)

研究活動実績：

2010 年度：

第 1 回研究会を 2010 年 11 月 4 日から 6 日まで高等研で開催した。中東工科大学の Jale Erzen 教授、インド国立デザイン研究所の M P Ranjan 教授、そしてメルボルン工科大学の Soumitri Varadarajan 教授が講演を行い、日本からの参加研究者と活発な意見交換を行った。中東の核となるトルコ、南アジアの中心インドを代表する両教授の講演は興味深く、アジアと密接な関係にあるオーストラリアの教授の講演は刺激的であった。アジアには工芸の伝統があると同時に、極めて現代的なデザイン活動も存在する。それら歴史的「芽」と現代の「芽」をともに育てることが重要であるという認識で一致した。

第 2 回研究会を 2011 年 1 月 20 日から 22 日まで高等研で開催した。ヨーク大学の Wendy S. Wong 教授、王立美術大学 (兼ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館) の Christine Guth 講師、そしてバーグ・パブリッシャーズの Tristan Palmer 氏が講演を行い、参加研究者と活発な意見交換を行った。東アジアの核となる日本と中国に関する講演は興味深く、百科事典を数多く手掛ける編集者の講演は刺激的であった。『Asian Design Encyclopedia』の企画も進み、全体構成を固め、アジアの主要国の Regional Editor を選ぶ段階にまで来ている。

研究会開催実績：

第 1 回 2010 年 11 月 4 日～ 6 日 (於：高等研)
 第 2 回 2011 年 1 月 20 日～22 日 (於：高等研)

話題提供者：6 名

Jale Erzen	Middle East Technical University, Emeritus Professor
Christine Guth	Victoria & Albert Museum, Tutor
Tristan Palmer	Berg Publishers, Oxford, Editor
M P Ranjan	National Institute of Design, Professor
Soumitri Varadarajan	Royal Melbourne Institute of Technology, Associate Professor
Wendy Siuyi Wong	York University, Toronto, Associate Professor / Design Department Chair

その他の参加者：2 名

土田 耕督	大阪大学大学院文学研究科博士課程 3 年
森 功次	東京大学大学院人文社会系研究科博士課程 3 年 (学術道場生)

2011 年度：

第 1 回研究会を 2011 年 11 月 4 日と 5 日の両日、高等研で開催した。初日にはメキシコの Innovating Tradition AC のディレクター Kythzia Barrera 氏が、メキシコにおける現代工芸の現状と、デザインによ

るクラフトのサポートの試みについて講演し、意見交換を行った。第2日目には、藤田治彦と、萱のり子、黒石いずみ、樋田豊郎、菅靖子、北村仁美、樋口孝之の5名の参加研究者がそれぞれ研究報告を行い、活発な意見交換を行った。

「アジア・デザイン・エンサイクロペディアの構築」プロジェクトを基盤に、実際の出版企画も進み、英国（ロンドン）の出版社から『Encyclopedia of Asian Design』（全4巻）として、2015年刊行を目標に出版準備を進めている。

研究会開催実績：

第1回 2011年11月4日～5日（於：高等研）

話題提供者：1名

Barrera, Kythzia Innovating Tradition AC Director

2012年度：

本研究プロジェクト最後の研究会を2012年11月2日から4日までの3日間、国際高等研究所で開催した。以下の研究会開催実績に挙げた話題提供者と参加研究者から報告を聞き、さまざまな角度からディスカッションを行い、研究を総括するかたちについて最終的な検討を行った。研究報告書の刊行は未定だが、本研究が側面から支援しているアジアのデザインのエンサイクロペディア（Encyclopedia of Asian Design 全4巻）は、やや遅れ気味ではあるが、2016年の出版に向けて最終的な執筆段階に入っており、本研究プロジェクトの目的は十分達成されたと言える。

研究会開催実績：

第1回 2012年11月2日～4日（於：高等研）

話題提供者：4名

天内 大樹 東京理科大学工学部ポストドクトラル研究員

桑木野 幸司 大阪大学文学研究科准教授

室賀 清徳 株式会社誠文堂新光社編集長

横溝 廣子 東京藝術大学大学美術館准教授

Achievement:

2010 fiscal year:

In the first workshop for the Asian Design Encyclopedia Project, we had three lectures by professors from Turkey, India, Australia, and an interesting discussion by the participants over a period of two days from 4 to 5 November 2010. We also had two editorial meetings on 4 and 6 November at the International Institute for Advanced Studies. By sharing information about both traditional craft and contemporary design, we are now very sure about the vitality in this field in whole Asia. The Asian Design Encyclopedia project got off to a favorable start. Its editorial committee is now selecting the best candidates for regional editors in major countries in Asia.

2011 fiscal year:

In the first workshop for the Asian Design Encyclopedia Project in 2011, we invited Kythzia Barrera, Director of Innovating Tradition AC, Mexico. She gave us a lecture on Modern Craft in Mexico on November 4th. One November 5th, after talks by Haruhiko Fujita, Noriko Kaya, Izumi Kuroishi,

Toyoro Hida, Yasuko Suga, Hitomi Kitamura, and Takayuki Higuchi, all participants exchanged various opinions about design in Asia, and particularly in Japan.

Based on this basic research project “Asian Design Encyclopedia Project,” we started an actual publication project with a British publishing company. The Encyclopedia of Asian Design will be published in 2015.

2012 fiscal year:

In the last workshop held at the IIAS in 2-4 November 2012 for the Asian Design Encyclopedia Project, we invited Daiki Amanai, Koji Kuwakino, Kiyonori Muroga, and Hiroko Yokomizo as guest speakers. They gave us interesting talks on Architecture, Gardens, Communication Design, Forms and Patterns, respectively. Major members of this research project who participated in this last workshop include Noriko Kaya, Toyoro Hida, Takayuki Higuchi, Keisuke Takayasu, Takashi Murakami, Tomoko Hata, and Mikiko Tsunemi. Publication of *The Encyclopedia of Asian Design* which is partly based on this research project “Asian Design Encyclopedia Project,” will be published in 2015 or 2016.

研究活動総括：

本研究は広い意味でのアジアのデザインを総合的に捉えたエンサイクロペディア『Encyclopedia of Asian Design』を企画し、その実現を助ける国際研究会を連続開催し、世界各地のアジアの専門家が、アジア各国のデザインの歴史と現状について分析と報告を行い、意見交換を通じて、理想的なエンサイクロペディアのありかたを検討するものである。研究期間の3年の間に、計4回の研究会を国際高等研究所で開催した。参加者の多くは日本で活動する日本人研究者だが、それ以外にも、イギリス、インド、韓国、中国（香港）、トルコ、メキシコと、あわせて7カ国から関連分野の研究者が参加する国際的な研究会となった。

2010年度の第1回研究会では、中東工科大学（アンカラ）の Jale Erzen 教授、インド国立デザイン研究所（アーメダバード）の M P Ranjan 教授、そしてメルボルン工科大学の Soumitri Varadarajan 教授が講演を行い、日本からの参加研究者と活発な意見交換を行った。中東の核となるトルコ、南アジアの中心であるインドを代表する両教授の講演はともに興味深いものであった。両国は、長いデザインあるいは工芸の伝統を持ち、現代デザインにおいてもそれぞれの地域を先導する立場にある。アジアと密接な関係にあるオーストラリアの教授の講演は示唆に富むものであった。同教授はインドの出身で、メルボルン工科大学を基盤に、中国を含む世界各地でデザイン教育に携わっている。また、メルボルン工科大学にはアジアのさまざまな国から、デザインを学びに多くの若者が集まってきている。また、オーストラリア自体、歴史的な相違と従来のアジア概念から今回の『Encyclopedia of Asian Design』には含まれないが、主に経済的な理由から、アジア圏に属したいという希望を一部の国民が抱いている国でもある。

通算第2回目の研究会（2011年1月20日-22日）で講演した Wendy S. Wong 教授は、香港の出身の若手研究者で、カナダのトロント（ヨーク大学）で教育に携わり、この研究会期間の途中で、オーストラリアのメルボルンの大学へと移られた。この教授の例のように、いま欧米、特に英語圏では、若手研究者を中心に国境を越えた移動が当りまえの状況になっている。本研究会は国際高等研究所の会としてはもともと若いメンバーで構成された研究会の一つだろうと思われるが、同教授の講演や人柄に触れ、日本の若手研究者が世界の大学の、あるいは大学間交流の現状（急速な国際化）を認識する機会となったのではないかと思う。また、その国際化はいまアジアおよびアジアと直接接するオーストラリアなどで進行しているのである。また、ロンドンの王立美術大学（兼ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館）の Christine Guth 講師、そしてバーグ・パブリッシャーズの Tristan Palmer 氏が講演を行い、参加研究者と活発な意

見交換を行った。東アジアの核となる日本と中国に関する講演は興味深く、百科事典を数多く手掛ける編集者の講演は刺激的であった。『Asian Design Encyclopedia』の企画も進み、全体構成を固め、アジアの主要国の Regional Editor を選ぶ段階に達した。本研究に対する興味は若い世代の参加者のあいだでも高く、国際高等研究所「道場生」として、東京大学大学院生が一名熱心に参加した。

通算第3回目の研究会（2011年11月4日－5日）ではメキシコの Innovating Tradition AC のディレクター Kythzia Barrera 氏が、メキシコにおける現代工芸の現状と、デザインによるクラフトのサポートの試みについて講演した。アジア圏外の研究者であり、アジア圏外の事象についての報告だがきわめて示唆に富むものであった。メキシコには各地に陶器や染織品などさまざまな伝統工芸があり、多くの工芸家が存在するが、さまざまな問題をかかえている。伝統的な形態に依存し、生活の近代化あるいは国際化に対応していない等の問題である。Innovating Tradition AC は、メキシコ各地の工芸活動を調査し、近代化やグローバル化の世界的状況を王芸家に伝え、それに対応した新たなデザインの可能性を示し、各地の工芸家に協力する。さらには、そのような過程で各地の工芸家が開発した新たな製品の販売をインターネットを通じて助けている。このような問題はアジア各国が共通に抱えている問題であり、参加者とさまざまな意見交換がなされた。第2日目には、藤田治彦と、萱のり子、黒石いずみ、樋田豊郎、菅靖子、北村仁美、樋口孝之の5名の参加研究者がそれぞれ研究報告を行い、活発な意見交換を行った。「アジア・デザイン・エンサイクロペディアの構築」プロジェクトを基盤に、実際の出版企画も進み、英国（ロンドン）の出版社から『Encyclopedia of Asian Design』（全4巻）として、2015年刊行を目標に出版準備を進めている。通算4回目本研究プロジェクト最後の研究会は2012年11月2日から4日までの3日間、国際高等研究所で開催された。天内大樹（東京理科大学工学部ポストドクトラル研究員）、桑木野幸司（大阪大学文学研究科准教授）、室賀清徳（株式会社誠文堂新光社編集長）、横溝廣子（東京藝術大学大学美術館准教授）。以下の研究会開催実績に挙げた話題提供者と参加研究者から報告を聞き、さまざまな角度からディスカッションを行い、研究を総括するかたちについて最終的な検討を行った。研究報告書の刊行は未定だが、本研究が側面から支援しているアジアのデザインのエンサイクロペディア（Encyclopedia of Asian Design 全4巻）は、やや遅れ気味ではあるが、2016年の出版に向けて最終的な執筆段階に入っており、本研究プロジェクトの目的は十分達成されたと言える。

アジアには工芸の伝統があると同時に、極めて現代的なデザイン活動も存在する。それら歴史的「芽」と現代の「芽」をともに育てることが重要であるという認識で一致した。新たな学術の芽になればと期待している。

Whole Achievement:

Asia is one of the most important centers of production and consumption in today's world. Asia has its long and rich traditions of art, craft, and design, as well as unique cultures which are more harmonious with nature. Asian design is, however, properly understood neither by non-Asian nor by Asian people themselves. To improve this situation, we held a series of international workshops in which specialists in design and its related fields analyze and discuss the history and present conditions of each Asian country, aiming at the publication of the *Encyclopedia of Asian Design* in the near future. Through the process of workshops, writing and editorial works of the report, mutual understanding and the next generation of design study in Asia will be formed.

In the first workshop for the Asian Design Encyclopedia Project, we had three lectures by professors from Turkey, India, Australia, and an interesting discussion by the participants over a period of two days from 4 to 5 November 2010. By sharing information about both traditional craft and contemporary design, we are now very sure about the vitality in this field in whole Asia. The Asian Design Encyclopedia project got off to a favorable start. Its editorial committee selected the best candidates for regional editors in major countries in Asia.

In the second workshop for the Asian Design Encyclopedia Project during 20-22 January 2011, we invited Wendy Wong from York University, Toronto, Canada, Christine Guth from Royal College of Art / Victoria & Albert Museum, London, and Tristan Palmer from Berg Publishers, London. This workshop became a stepping-stone to more advanced stage.

In the third workshop for the Asian Design Encyclopedia Project in 2011, we invited Kythzia Barrera, Director of Innovating Tradition AC, Mexico. She gave us a lecture on Modern Craft in Mexico on 4 November 2011. On November 5th, after talks by Haruhiko Fujita, Noriko Kaya, Izumi Kuroishi, Toyoro Hida, Yasuko Suga, Hitomi Kitamura, and Takayuki Higuchi, all participants exchanged various opinions about design in Asia, and particularly in Japan.

In the fourth workshop held at the IIAS in 2-4 November 2012 for the Asian Design Encyclopedia Project, we invited Daiki Amanai, Koji Kuwakino, Kiyonori Muroga, and Hiroko Yokomizo as guest speakers. They gave us interesting talks on Architecture, Gardens, Communication Design, Forms and Patterns, respectively. Major members of this research project who participated in this last workshop include Noriko Kaya, Toyoro Hida, Takayuki Higuchi, Keisuke Takayasu, Takashi Murakami, Tomoko Hata, and Mikiko Tsunemi.

Although the publication of the *Encyclopedia of Asia Design* is slightly behind schedule, it will be published in 2016. The aim of this research project has been fully achieved. Asia has both traditional design rooted in each country's rich history and modern design directly related to contemporary society and technology. All researchers of this project agreed that it is very important to find good seeds in both historical and contemporary society and environment, and develop from these seeds into full-grown trees.

国際高等研究所 研究プロジェクト
「アジア・デザイン・エンサイクロペディアの構築」
2010年度第1回研究会プログラム

開催日時：2010年 11月4日（木）10：00～17：30
11月5日（金）10：00～16：30
11月6日（土）10：00～12：00

開催場所：国際高等研究所セミナー1（1F）

研究代表者：藤田 治彦 大阪大学大学院文学研究科教授
担当所長・副所長：

出席者：（10人）

研究代表者	藤田 治彦	大阪大学大学院文学研究科教授
参加研究者	北村 仁美	東京国立近代美術館工芸課主任研究員
（5人）	金 相美	大阪学院大学非常勤講師
	菅 靖子	津田塾大学学芸学部英文学科准教授
	竹内 有子	大阪工業大学非常勤講師
	畑 智子	京都文化博物館学芸課長

学術道場生 森 功次 東京大学大学院文学社会系研究科博士課程3年
（1人）

話題提供者	Jale Erzen	Middle East Technical University, Emeritus Professor
（ゲストスピーカー）	M P Ranjan	National Institute of Design, Professor
（3人）	Soumitri Varadarajan	Royal Melbourne Institute of Technology Associate Professor

プログラム

11月4日（木）

10：00 研究代表者と話題提供者のみの研究会事前打ち合わせ

12：00 昼食

14：00 趣旨説明：藤田 治彦 大阪大学大学院文学研究科教授

「アジアとは何か？アジア・デザイン・エンサイクロペディア概説」

14：30 質疑応答

15：00 休憩

15：30 話題提供者：Jale Erzen Middle East Technical University, Emeritus Professor

演題「Design in the Middle East and Central Asia」

16：30～17：30 討論「中東と中央アジアのデザイン」

11月5日(金)

10:00 話題提供者: M P Ranjan National Institute of Design, Emeritus Professor
演題「南アジアと東南アジアのデザイン (1)」

11:00 質疑応答

12:00 昼食・総合討論

13:30 話題提供者: Soumitri Varadarajan Royal Melbourne Institute of Technology
Associate Professor

演題「南アジアと東南アジアのデザイン (2)」

15:00~16:30 討論「南アジアと東南アジアのデザイン」

11月6日(土)

10:00~12:00 「アジア・デザイン・エンサイクロペディア」に関する意見交換

* 今回の研究会はすべて英語で行われました。

国際高等研究所 研究プロジェクト
「アジア・デザイン・エンサイクロペディアの構築」
2010年度第2回研究会プログラム

開催日時：2011年 1月20日（木）10：00～17：30
1月21日（金）10：00～16：30
1月22日（土）10：00～12：00

開催場所：国際高等研究所セミナー1（1F）

研究代表者：藤田 治彦 大阪大学大学院文学研究科教授
担当所長・副所長：天野 文雄 副所長

出席者：（10人）

研究代表者	** 藤田 治彦	大阪大学大学院文学研究科教授
参加研究者	北村 仁美	東京国立近代美術館工芸課主任研究員
（5名）	金 相美	大阪学院大学非常勤講師
	竹内 有子	大阪工業大学非常勤講師
	畑 智子	京都文化博物館学芸課長
	土田 耕督	大阪大学大学院文学研究科博士課程3年

学術道場生 森 功次 東京大学大学院文学社会系研究科博士課程3年
（1名）

**：スピーカー

話題提供者	Christine Guth	Victoria & Albert Museum, Tutor
（ゲストスピーカー）	Tristan Palmer	Berg Publishers, Oxford, Editor
（3人）	Wendy Siuyi Wong	York University, Toronto, Associate Professor Design Department Chair

プログラム

1月20日（木）

10：00 研究代表者と話題提供者のみの研究会事前打ち合わせ

14：00 話題提供者：藤田 治彦

演題「第1回アジア・デザイン・エンサイクロペディア・ワークショップと

日本の部について」

14：30 質疑応答

15：00 休憩

15：30 話題提供者：Tristan Palmer

演題「Reading Berg Encyclopedia of World Dress and Fashion

for the Encyclopedia of Asian Design」

16：30～17：30 討論「デザインのエンサイクロペディア」

1月21日(金)

10:00 話題提供者: Wendy Siuyi Wong

演題「Design in China and the Encyclopedia of Asian Design」

11:00 討論「中国とその自治区・香港・マカオ・台湾のデザイン」

12:00 昼食・総合討論

13:30 話題提供者: 藤田治彦, Christine Guth, Wendy Siuyi Wong

演題「アジア・デザイン・エンサイクロペディアにおける

国境を越えたデザインの歴史と現在」

15:00~16:30 討論「国境を越えたアジアのデザインの歴史と現在」

1月22日(土)

10:00~12:00 研究代表者と話題提供者のみの研究会事後打ち合わせ

* 今回の研究会はすべて英語で行われました。

国際高等研究所 研究プロジェクト
「アジア・デザイン・エンサイクロペディアの構築」
2011年度第1回（通算第3回）研究会プログラム

開催日時：2011年 11月4日（金）16：10～18：00
11月5日（土）10：00～17：30

開催場所：国際高等研究所セミナー1（1F）

研究代表者：藤田 治彦 大阪大学大学院文学研究科教授
担当所長・副所長：天野 文雄 副所長

出席者：（14人）

研究代表者	** 藤田 治彦	大阪大学大学院文学研究科教授
参加研究者	** 萱 のり子	大阪教育大学教育学部教授
（メンバー）	** 北村 仁美	東京国立近代美術館工芸課主任研究員
（12名）	金 相美	大阪学院大学非常勤講師
	** 黒石 いずみ	青山学院大学総合文化政策学部教授
	** 菅 靖子	津田塾大学学芸学部英文学科准教授
	鈴木 禎宏	お茶の水女子大学人間文化創成科学研究科准教授
	高安 啓介	愛媛大学法文学部准教授
	竹内 有子	大阪工業大学非常勤講師
	畑 智子	京都文化博物館学芸課長
	** 樋口 孝之	千葉大学大学院工学研究科准教授
	** 樋田 豊次郎	秋田公立美術工芸短期大学学長
	村上 敬	静岡県立美術館学芸課上席学芸員

**：スピーカー

話題提供者 Barrera, Kythzia Innovating Tradition AC Director
（ゲストスピーカー）
（1人）

プログラム

11月4日（金）

16：10～16：20 開会の挨拶 藤田 治彦

16：20～17：00 話題提供： Barrera, Kythzia
演題「工芸家とデザイナーの共同－メキシコの事例」

17：00～18：00 ディスカッション「クラフトとデザインについて考える」

11月5日(土)

10:00~12:30 第1セッション「アートとデザインの歴史」
藤田 治彦 「Encyclopedia of Asian Design」について
萱 のり子 「書」について
黒石 いずみ 「建築」について

12:30~13:30 昼食

13:30~15:30 第2セッション「近代デザイン」
樋田 豊次郎 「明治のデザイン」について
菅 靖子 「大正と昭和初期のデザイン」について

15:30~15:40 休憩

15:40~17:30 第3セッション「現代デザイン」
北村 仁美 「クラフト・デザイン」について
樋口 孝之 「ソーシャル・デザイン」他について

国際高等研究所 研究プロジェクト
「アジア・デザイン・エンサイクロペディアの構築」
2012年度第1回（通算第4回）研究会プログラム

日 時：2012年11月2日（金）16：30～18：00
11月3日（土）10：00～18：30
11月4日（日）09：30～13：00

場 所：国際高等研究所 216号室（2F）

出席者：（16人）

研究代表者	** 藤田 治彦	大阪大学大学院文学研究科教授
参加研究者	** 萱 のり子	大阪教育大学教育学部教授
	** 木田 拓也	東京国立近代美術館工芸課主任研究員
	金 相美	大阪学院大学非常勤講師
	** 高安 啓介	愛媛大学法文学部准教授
	** 常見 美紀子	京都女子大学家政学部教授
	** 橋本 啓子	神戸学院大学人文学部講師
	** 橋本 優子	宇都宮美術館学芸課主任学芸員
	畑 智子	京都文化博物館学芸課長
	** 樋口 孝之	千葉大学大学院工学研究科准教授
	** 樋田 豊郎	秋田公立美術工芸短期大学学長
	** 村上 敬	静岡県立美術館学芸課上席学芸員

**：スピーカー

話題提供者	天内 大樹	東京理科大学工学部ポストドクトラル研究員
	桑木野 幸司	大阪大学文学研究科准教授
	室賀 清徳	（株）誠文堂新光社編集長
	横溝 廣子	東京芸術大学大学美術館 准教授

プログラム

11月2日

16時30分	藤田治彦 開会あいさつ（1）
16時40分	高安啓介（愛媛大学）「Natural and Social Environments」
17時10分	村上 敬（静岡県立美術館）「Religious and Traditional Ideas」
17時40分	意見交換
18時00分	閉会

11月3日

10時00分	藤田治彦 開会あいさつ（2）
10時30分	桑木野幸司（大阪大学）「Landscape Gardening」
11時00分	横溝廣子（東京藝術大学）「Traditional Forms and Patterns」
11時30分	意見交換
12時00分	昼食会
13時00分	萱のり子（大阪教育大学）「Calligraphy」
13時30分	藤田治彦（黒石いずみ・青山学院）「Interior Furnishing」代理説明
14時00分	意見交換
14時30分	樋田豊郎（秋田公立美術工芸短期大学）「Modern Design (1867-1912)」
15時00分	木田拓也（東京国立近代美術館）「Modern Design (1930-1957)」
15時30分	藤田治彦（菅靖子・津田塾大学）「Modern Design (1957-1973)」代理説明
16時00分	意見交換
16時30分	橋本優子（宇都宮美術館）「Design Education and Curation」
17時00分	室賀清徳（『アイデア』誌）「Visual Communication Design」
17時30分	常見美紀子（京都女子大学）「Fashion and Textile Design」
18時00分	意見交換
18時30分	閉会

11月4日

09時30分	樋口孝之（千葉大学）「Social and Service Design」
10時00分	橋本啓子（神戸学院大学）「Interior Design」
10時30分	天内大樹（日本大学）「Architecture」
11時00分	藤田治彦（北村仁美・東京国立近代美術館）「Craft Design」代理説明
11時30分	意見交換
12時00分	総合討論
13時00分	閉会